うつほ物語資料

中野幸一 編

うつほ物語資料

中野幸一編

武蔵野書院

昭和56年12月25日　発　行

うつほ物語資料

定価　一二〇〇〇円

編　者　中野幸一

発行者　東京都千代田区神田錦町三ノ十一　前田　武

印刷者　東京都文京区白山三ノ一ノ四　柿崎忠一郎

発行所　東京都千代田区神田錦町三ノ十一　合名会社　武蔵野書院

振替口座　東京九―六七一四六番

電話東京(291)四八五九番(代)

郵便番号一〇一

緒　言

本書は『うつほ物語』研究のための資料として、「俊蔭」の巻の絵巻、奈良絵本二部、写本二部、古活字版、整版本、それに細井貞雄の『空物語玉琴』と殿村常久の『宇都保物語年立』の九点を、すべて写真版で収めた。このうち、絵巻、奈良絵本、写本の五点は、今回初めて紹介するものである。

『うつほ物語』の研究が、他の物語文学に比して大幅に立ち遅れている理由の一つに、テキストの不備があげられる。実際、この物語については『源氏物語』のように早くから校訂作業が行われていなかったようであるし、江戸時代に全巻上梓された延宝五年版本は、その後文化十二年、天保十五年と補刻を重ねてかなり流布したが、最良の本文を伝えるテキストとは言い難いものであった。加うるに現存の写本類も室町期に遡りうるものはほとんどなく、江戸初期の各筆本である尊経閣文庫蔵の前田家本が現存最善本とされているのが現状である。江戸時代の国学者たちの版本への校合・書入の類が本文批判の上で重要視されているのも、所詮は信頼するに足りる古写本がないこの物語の宿命である。

したがって、『うつほ物語』に関する限り、たとえ江戸期の写本であっても、その本文は一応資料として一見すべきものと思われる。しかも近年はその写本類の巷間に現われることすらもきわめて稀で、入手はおろか、瞥見することも困難であることを思うと、手許にある僅かな書冊を公開することも、今後の研究のためにあながち無意味な試みではないであろう。

本書に収載した書物は、『うつほ物語』の本文資料として特に重要なものというわけではない。絵巻や奈良絵

本のたぐいは、その製作事情を考慮に入れるならば、むしろ厳正な本文資料とはなり得ないと見るのが常識かも知れない。しかし『うつほ物語』に「絵詞」と呼ばれる他の物語には類を見ない特殊な詞章が挿入されているからには、直接の結びつきは望めないまでも、絵巻や絵入本は、見方によっては興味ある資料となりうるし、何よりもこの物語の享受面での好資料であることは確かであろう。本書に、絵巻、奈良絵本、万治版本など、絵入本を多く収載することを心がけたのも、そのような面での資料的意義を考えてのことである。巻末の二書『空物語玉琴』と『宇都保物語年立』は広く流布した版本で、写真にするほどの書物ではないが、この物語研究の出発点ともなるべき基礎資料として付載した。また巻頭の口絵に用いた『実隆公記』の紙背文書は、『うつほ物語』の伝来に関わる重要資料と考えられるものである。

『うつほ物語』が、一応は『源氏物語』以前の現存唯一の長編物語と評価されながらも、その研究は今もって未開拓の部分が多く、評価や文学史上の位置付けも、まだ明確に示されるまでには至っていない。長編物語として見事な達成を遂げた『源氏物語』のさまざまな疑問を解くためにも、その鍵は多くこの『うつほ物語』の中に秘められていると思われる。本書が前著『うつほ物語の研究』に紹介した諸資料とともに、今後のこの物語の研究にいささかでも寄与するところがあれば、編者の喜びこれに過ぎるものはない。

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

目次

うつほ物語絵巻　三巻……5
奈良絵本うつほ物語　十冊……61
奈良絵本うつほ物語　五冊……147
写本うつほ　一冊……275
写本うつほ物語　一冊……335
古活字版うつほ物語　二冊……383
万治版うつほ物語　三冊……429
空物語玉琴　二冊……483
宇都保物語年立　一冊……533

うつほ物語絵巻　三巻

うつほ物語絵巻　三巻

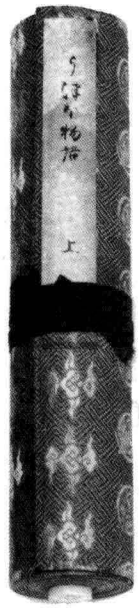
巻子装三巻。各巻縦三十三・二センチ、長さ約十六・五メートル、一紙四十八センチ内外、三十四紙継ぎ。絵各巻七図、計二十一図。内容は「俊蔭」の巻。

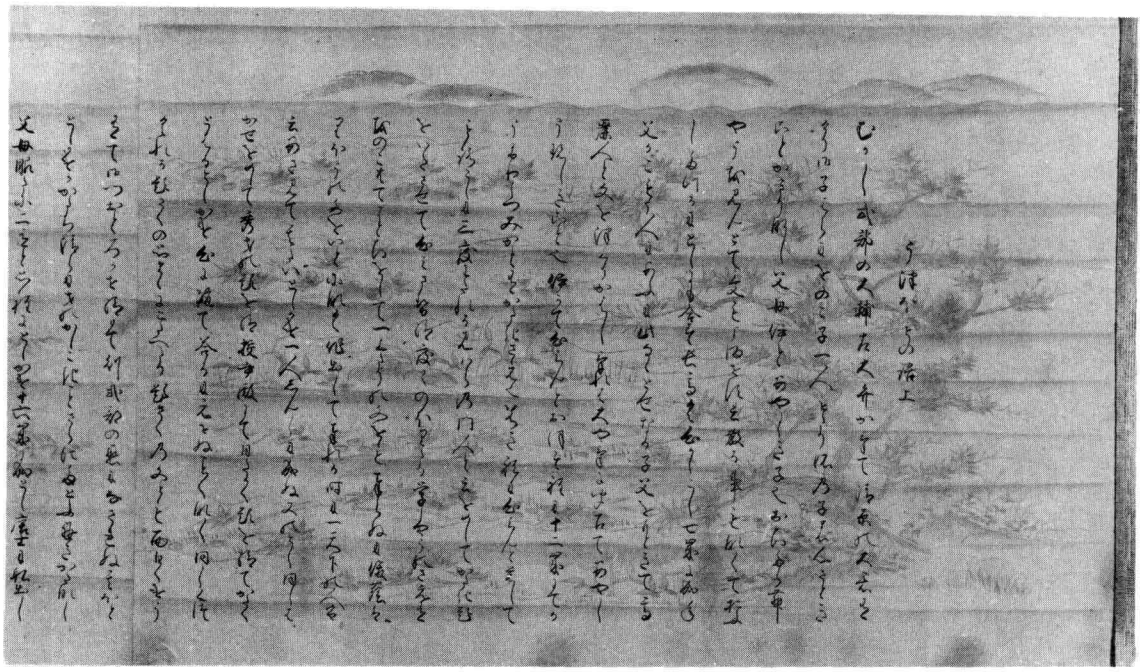
表紙は蘇芳と青の卍つなぎ模様の地に二つ追い杜若と飛雲の紋を浮織にした緞子、紐は紫の平織。左上短冊形の金紙題簽に本文と同筆で「うつほ物語上（中・下）」。見返しは金布目、本文料紙は鳥の子で金泥下絵入り、裏は金切箔散らし、軸は象牙。原装。

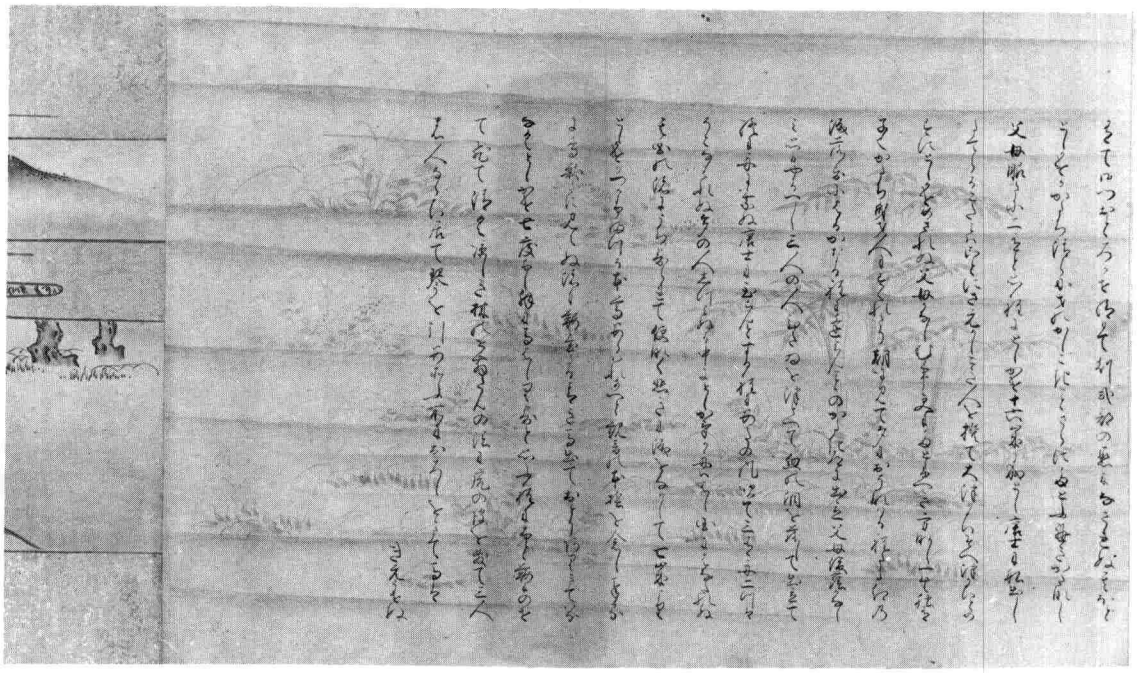
箱は古い桐箱だが、もとは黒漆金蒔絵の立派な箱であったらしく、その元箱の面影を残すべく、金字で黒漆に「うつほ物語」と書いた元箱の題字部分が中央にはめこまれている。

本文書体はやや小ぶりの細筆で女文字と思われる。絵は極彩精緻な土佐派の大和絵、製作は江戸初期、およそ寛永～寛文頃と推定される。

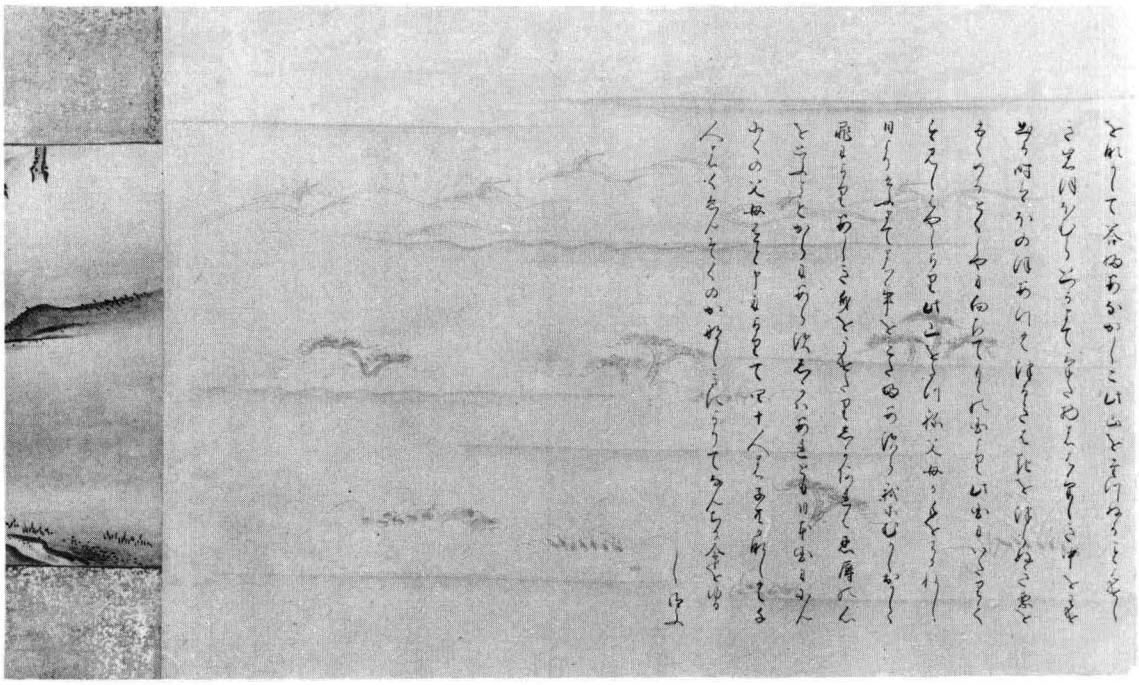
うつほ物語絵巻は、現在天理大学図書館蔵の五巻本（久原文庫旧蔵、絵二十七図）、九州大学図書館細川文庫蔵の五巻本（絵十八図）の存在が知られているが、三巻の絵巻は他に伝存を聞かない。

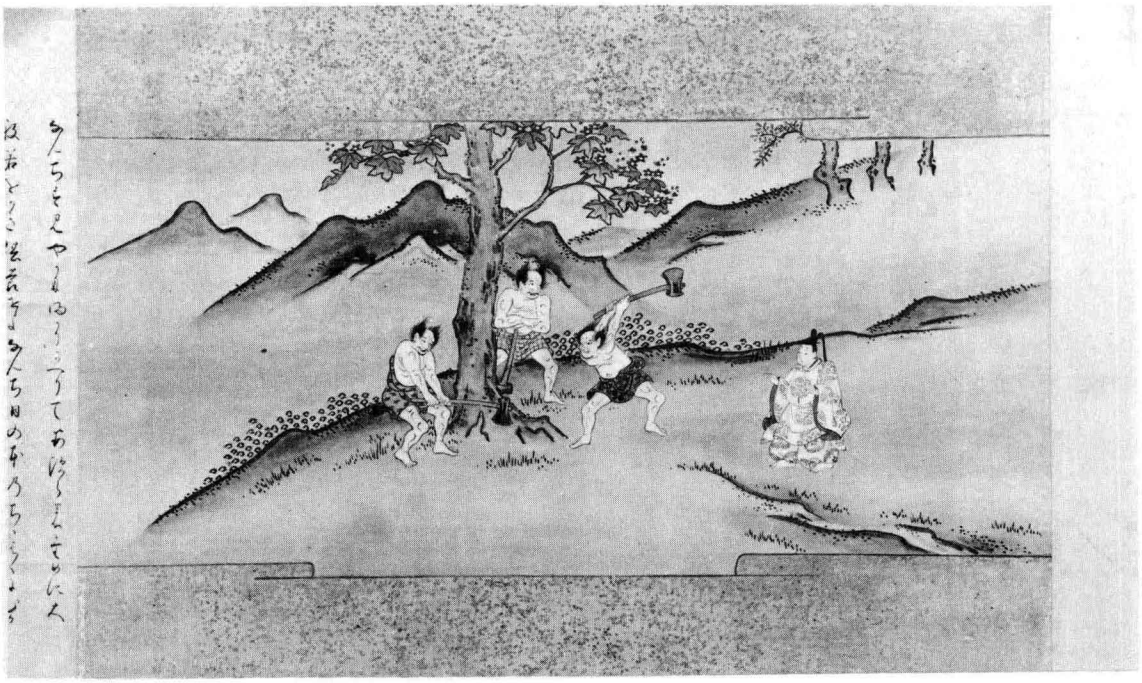

うつほ物語
上

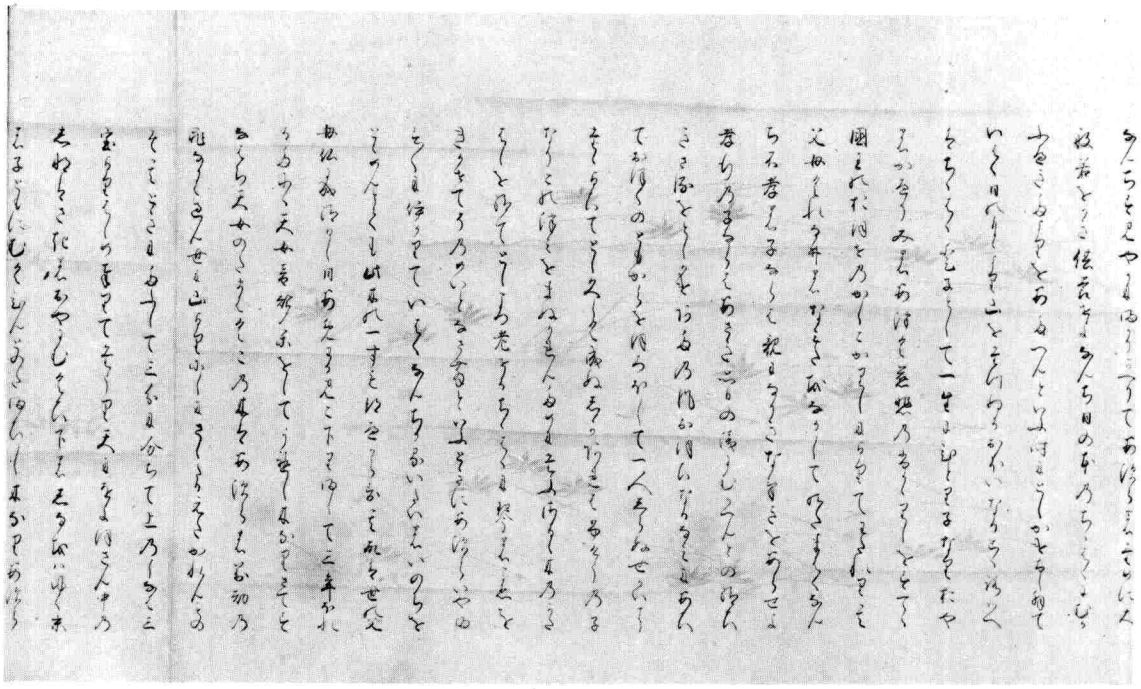


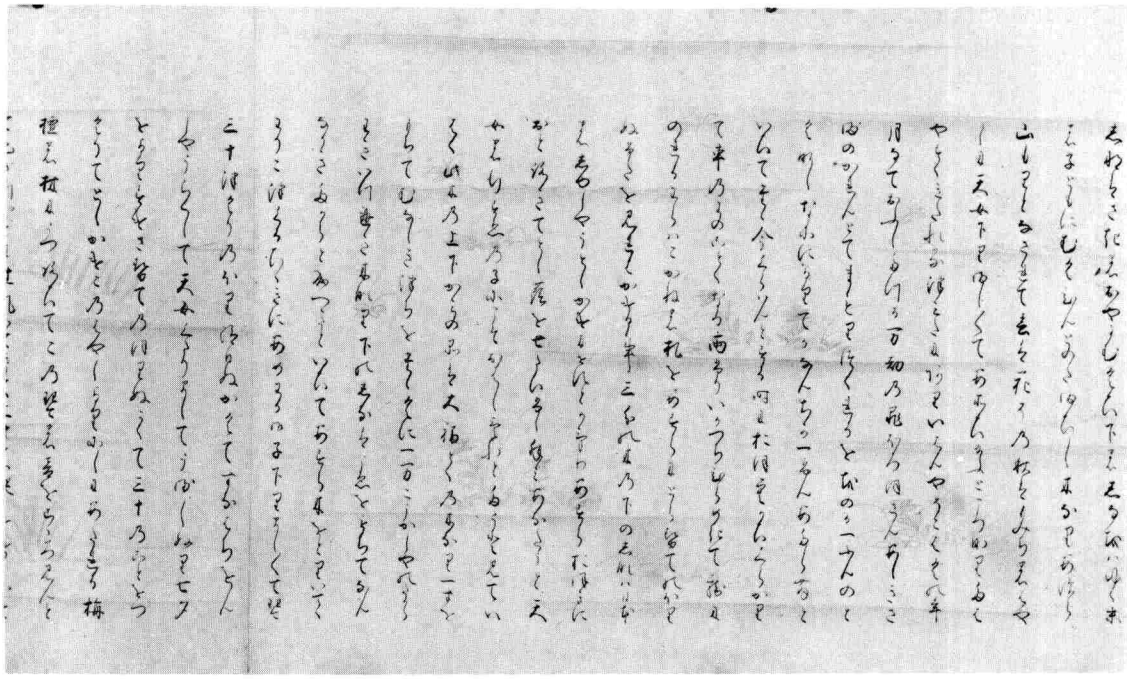


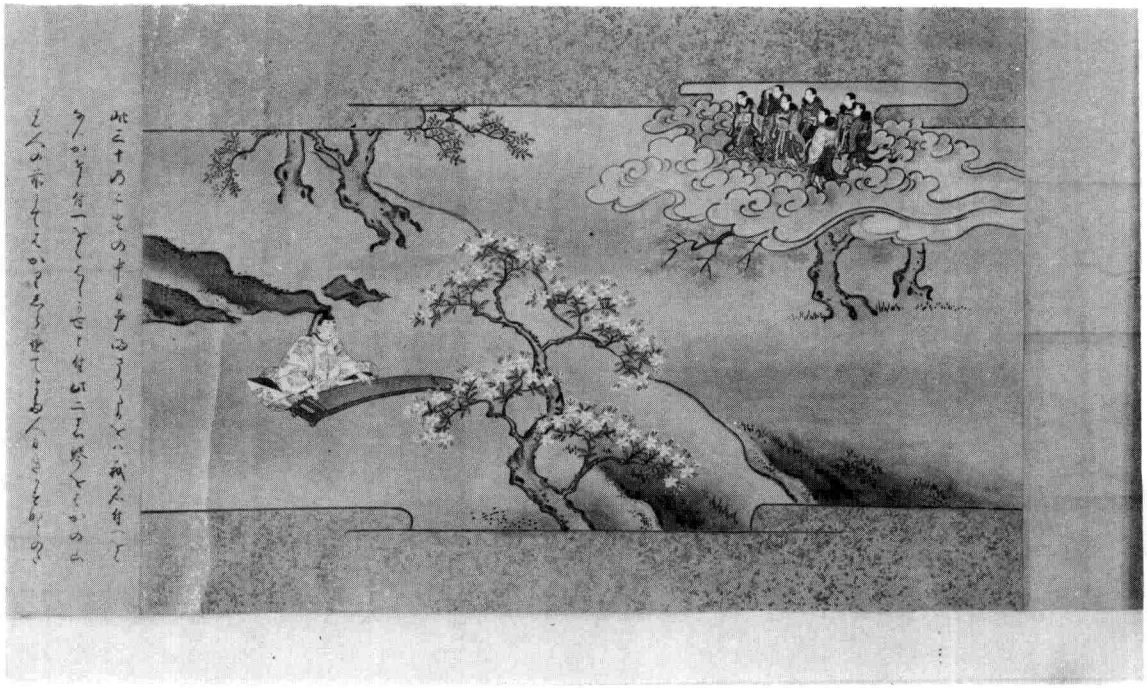
此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com



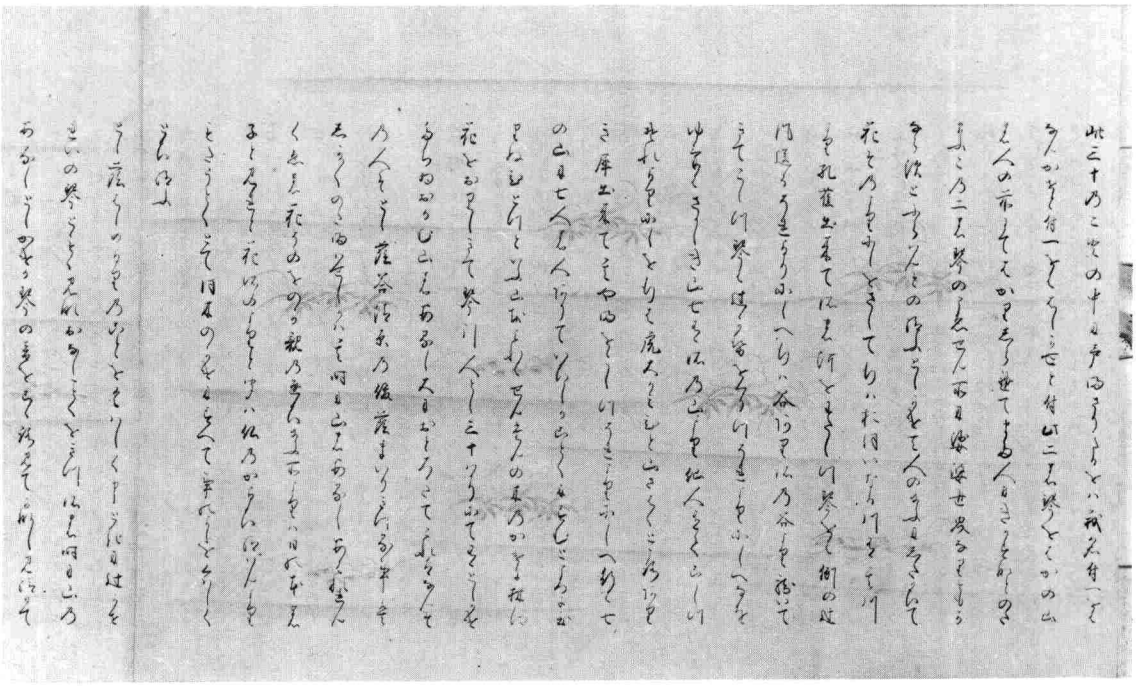








此三十めこせの中ゝ月のうるはしかりしかぬ
うつほ琴一をとりて世と付山二ゝ琴とかめ山
ゑ人の市をそかりて世てゝ人のさゝめき



此三十めこせの中ゝ月のうるはしかりしかぬ
うつほ琴一をとりて世と付山二ゝ琴とかめ山
ゑ人の市をそかりて世てゝ人のさゝめき
ゝ乃二ゝ琴のゑゝ人ゝ日ゝ浪世ゝ
ゝ法とゝ人ゝ
花そ乃ゝ
ゝ礼花ゝ
門ゝ
ゝ
ゝ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com